

遠賀

No. 171 2023. 8.25

おんがちょう
発行／福岡県遠賀町議会

議会だより



6月定例会

条例改正、補正予算など . . . 2

5月臨時会など . . . 3

議会広報モニター連絡会議など . . . 4

一般質問 . . . 5

傍聴者からの声 . . . 10

この議場で、さまざまな議案が討議され、私たちの生活に密着した事項が、協議されて決定されていきます。

住みやすい遠賀町にするために、議会を身近に感じ、政治に関心をもってぜひたくさんの方々の傍聴を願っています。

6月定例会は、6月5日から14日までの10日間開催されました。議案は、条例改正、令和5年度補正予算など8件が上程され、慎重審議を行いました。

人事案件

条例改正

農業委員会委員の任命
(全員一致同意)

農業委員の任期満了に伴い、任命するもの。

一田 孝雄さん (浅木区)

原田 利春さん (広渡区)

安藤 敏生さん (上別府区)

三原 高志さん (鬼津区)

米田 かおるさん (上別府区)

林 長輝さん (尾崎区)

加藤 陽一郎さん (今古賀区)

石井 佐千生さん (木守区)

●任期

令和5年7月20日から
令和8年7月19日まで



新たに生まれ変わる起業支援施設

起業支援施設設置条例の一部改正について
(全員一致可決)

駅前サービスセンター
廃止後の起業支援施設を新たにチャレンジショップとして整備し、安価な家賃で貸し出すことで、起業につながるもの。

●ノーマルタイプ
1店舗当たり
1カ月 3万円

●スモールタイプ
1店舗当たり
1カ月 1万円

令和5年度
一般会計補正予算
2億3567万円増額
(万円未満四捨五入)

(賛成多数可決)

第3回目の補正予算は、2億3567万円を増額し、予算規模は82億6830万円になりました。

【主なもの】

物価高騰対策として商品券を配布
1億3721万円

物価高騰の影響を受ける町民の負担軽減と地域経済の循環を実現するために実施するもの。

(世帯額)

住民税課税世帯
1世帯に商品券1万円分
住民税非課税世帯
1世帯に商品券5千円分

(人数額)

世帯人数2人目以降1人当たり商品券5千円分

※住民税非課税世帯には、国から1世帯あたり3万円が支給されるため、世帯額を5千円としています。

物価高騰対策助成金
各施設に対し食材費などの高騰に対する助成を行うもの。

○高齢者福祉施設
218万円

○障がい者福祉施設
10万円

○保育施設等
608万円

○子ども食堂
16万円

保育料を軽減 多子世帯の子どもの数え方を変更
768万円

これまでの就学後の子は除き、就学前の子のうち、年齢が高い者から順に第1子、第2子と数えていたが、これを就学後の子(小学生から18歳)も含め年齢が高い者から第1子、第2子と数えることに変更するもの。9月よりこの数え方で保育料が算定される。

第1子 全額負担
第2子 半額負担
第3子以降 無料

福岡県が病児・病後児保育利用料を無償に(当分の間)
60万円

病児・病後児保育を利用する際の保護者自己負担分の利用料について、子ども1人に付き、1日2000円を上限に福岡県が補助することで、保護者負担を無償化するもの。

○予防接種コールセンター
1業務委託料
678万円

○集団接種業務委託料
531万円

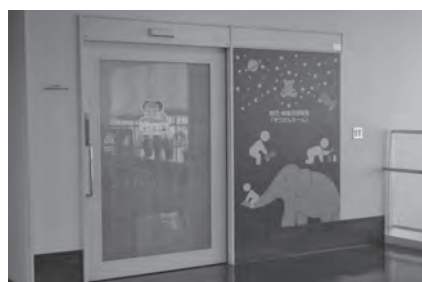
○集団接種業務委託料
484万円

遠賀郡広域電子図書館が始まる
527万円

令和5年12月の遠賀郡広域電子図書館の利用開始に向けて、本町が負担するもの。

浚渫工事を実施
3700万円

水害対策として、八反田池(上別府)、由良池(虫生津)の浚渫工事を実施するもの。



おんが病院の病児病後児保育室

新型コロナウイルスワクチン予防接種費
3266万円

○新型コロナウイルスワクチン接種料
874万円



木々に覆われている八反田池

討論 一般会計補正予算

一般会計補正予算は、賛成多数で可決しました。

反対 田代議員

インボイス制度のため
の財務会計システム改修
委託料が計上されている
からです。

賛成 仲摩議員

補正予算の主なものと
して、物価高騰に対する
住民への支援、保育園、
高齢者福祉施設等に対す
る支援、また、保育料の
第2子以降の軽減策、コ
ロナワクチン接種の予算
が計上されているわけで、
住民の生活に直結する大
事な予算であるため賛成
致します。

賛成 仲野議員

本補正予算は、町独自
の支援事業による物価高
騰対策や新型コロナウイルス
関連の事業等、適宜
必要な予算が盛り込まれ
ています。今後も、限ら
れた予算の中で有効な事
業を進めていただき、ス
ピード感をもって対応し
ていただくことをお願い
して賛成討論とします。

また、小規模事業者に
決定的な打撃となり、地
域経済を支える小規模事
業者の減少は、地域社会
の衰退につながりかねま
せんので、反対とします。

賛否が分かれた議案 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

| 議席番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
|-----------|-----------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------------|
| 会議名 | 議案名 | 議員名 | | | | | | | | | | | | |
| 6月 定例会 | 令和5年度遠賀町一般会計補正予算(第3号) | 仲摩 | 野口 | 田代 | 松本 | 立石 | 萩尾 | 濱田 | 松尾 | 二村 | 舛添 | 仲野 | 中野 | 織田 (議長) |
| | | ○ | ○ | ▲ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※全員一致の議案は除いています。

議会提出の議案

デジタル化推進特別委員
会の設置に関する決議

(全員一致可決)

前任期中のタブレット
導入調査検討特別委員会

の調査結果を踏まえ、タ
ブレットの導入も含めた
議会全体のデジタル化を
推進するためデジタル化
推進特別委員会が設置さ
れました。

●期限 調査終了まで

- 委員長 濱田 竜一
- 副委員長 二村 誠司
- 委員 仲摩 靖浩
- 委員 立石 紘一郎
- 委員 松尾 啓太
- 委員 仲野 新三郎

5月 臨時会

5月18日開催

令和5年度
一般会計補正予算
9195万円増額
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第2回目の補正予算は、
9195万円を増額し、
予算規模は8億3262
万円になりました。

【主なもの】

現金支給1世帯3万円、
住民税非課税世帯を支援
7475万円
物価高騰が続く中、家
計への影響が大きい住民
税非課税世帯を支援する
もの。

所得が低い子育て世帯を
支援、子ども1人5万円
1720万円

物価高騰に直面してい
る所得が低い子育て世帯
の生活を支援するもの。
また、本町では、国の
制度対象者に準ずる人も
対象として独自助成を行
うもの。

おんがレガッタ

令和5年5月27日(土)

28日(日)に遠賀川漕艇
場で第25回おんがレガッ
タが開催されました。

遠賀町議会からは議会
チームA、議会チームB
の2チームが出場しまし
た。

オープン男子の部では、
国際色豊かな盛り上がり
を見せ、白熱した戦いが
繰り広げられました。

チームAは予選を見事
突破し、チームBは残念
ながら予選敗退となりま
した。



導入が検討されるデジタル機器



予選を突破した議会チームA

各種委員の選任

遠賀町土地開発公社理事

仲摩 靖浩

濱田 竜一

中間市水道事業遠賀町給

水区域の給水に関する協

議会委員

萩尾 修身

松本 登

戸切川改修期成同盟会評

議員

舛添 博孝

田代 順二

二村 誠司

濱田 竜一

西川改修期成同盟会評議

員

舛添 博孝

遠賀町社会福祉協議会理

事

舛添 博孝

福岡県介護保険広域連合

遠賀支部運営委員会委員

織田 隆徳

野口 久美子

国道3号岡垣バイパス4

車線化整備促進期成会役

員

遠賀町人権教育推進協議

会委員

松尾 啓太

遠賀町青少年育成町民会

議審議委員

立石 紘一郎

遠賀町町営住宅入居者選

考委員会委員

仲野 新三郎

中野 嘉徳

遠賀町民生委員推薦会委

員

野口 久美子

遠賀町国民健康保険運営

協議会委員

舛添 博孝

遠賀町都市計画審議会委

員

二村 誠司

立石 紘一郎

遠賀町空き家等対策協議

会委員

田代 順二

立石 紘一郎

遠賀町バス対策協議会委

員

野口 久美子

遠賀町青少年問題協議会

審議委員

萩尾 修身

野口 久美子

議会広報モニター連絡会議

令和5年5月25日(木)

に、遠賀町役場にて「第

1回議会広報モニター連

絡会議」が行われました。

今回の議会広報モニター

は、議会日より169号で募

集され、1名の応募があ

り、織田議長より烏谷直

子さんに委嘱状が交付さ

れました。



委嘱状が交付された烏谷さん(左)

織田議長より、議会だ

よりについて、いかに町

民の皆さんに読んでいた

だとか、全体について検

討していただきたいとい

う言葉をモニターの烏谷

さんに伝えられました。

烏谷さんと議会広報委

員が自己紹介を行い、烏

谷さんから率直な意見を

いただき、町民目線の議

会だよりを作っていくよ

う、全員で意思統一をし

ました。



モニター連絡会議の様子

今年度の議会だよりは、

今後8月25日号、11月25

日号、2月25日号の3回

発行される予定です。烏

谷さんについては、議会

だより発行後、アンケート

トにご意見、ご感想を書

いていただき、議会広報

委員は、その内容をもと

に次号の議会だより作成

に反映していきます。

議会広報モニター追加募集!

町民の皆さんからの意

見や感想等を幅広くお聴

きするため「議会広報モ

ニター」を募集します。

●仕事内容

▽「議会だより」に対す

るアンケートの記入

▽モニター会議への出席

●対象

①本町に在住の方

②議会広報に関心ある方

③現在、常勤の公務員で

ない方

●募集人数 4人以内

●任期

令和5年10月1日から

令和6年3月31日まで

●締切 9月15日(金)

●その他 予算の範囲内

で報償します。

●申込み・問い合わせ

遠賀町議会事務局へ電

話または議会ホームページ

でご確認ください。

Tel 093(293)1235

<https://www.town.ongaki.jp>

全国町村議会議長会 議長・副議長研修会

令和5年5月23日(火)

に東京国際フォーラムに

て町村議会議長・副議長

研修会が開催されました。

大正大学教授の江藤俊

昭氏から「町村議会の課

題と今後の展望について、

NPO法人ブロードバン

ドスクール協会理事の若

宮正子氏から「町村こそ

デジタルを」、朝日新聞

社記者の三島あずさ氏か

ら「地方議会とハラスメ

ント」について講話があ

りました。

デジタル化については、

官公庁、自治体で「紙を

一切使わない」ことに決

めたIT先進国のデン

マークの実情について話

がありました。

数年前より課題となっ

ている地方議会議員のな

り手不足やデジタル化に

ついては、本町議会でも

議論を深めていく必要が

あると感じました。



なかの 仲野
しんざぶろう 新三郎

Q

給食費の無償化を早期実施する考えは

A

自治体の判断ではなく、国の責任と負担で実施すべきだと考える



学校給食の様子

給食費無償化を早期実施する考えは

議員 全国で給食費の無償化に取り組んでいる自治体が増えてきているが、政府が学校給食費の無償化を異次元の少子化対策のたたき台に盛り込むと発表した。子どもの教育においては地域格差はあってはならないと思うので国の方で全国一律で実施してほしいと思つている。地域格差を解消するためにも国による早期実施を求めるが、どのように考えているか尋ねる。

町長 給食費の無償化については、既に実施している自治体もあるが比較的人口規模の少ない自治体で実施されている状況である。本町で無償化を実施すれば、新たに6100万円の予算が恒久的に必要な。現時点では各自治体の判断で行う施策ではなく、国の責任と負担で実施すべき施策だと考えている。国が発表した子ども子育て政策の強化については、給食費の無償化に向けて給食実施率や保護者負担軽減策等の実態を把握しつつ、課題の整理を行うとされていることや、政党幹部からも給食費の無償化について発言されている状況のため、国の動向を注視していく。

議員 新たに開設を考えている団体等に対して新規開設に係る費用に対する補助金の交付は行っていないが、備蓄品や自宅療養者支援用の食料品など食材の提供や、団体が実施する補助金のおっせん及び情報提供、民生委員・児童委員協議会や学校への広報などの協力を行っている。また、福岡県が令和5年度から福岡県子ども食堂ネットワーク支援事業をスタートさせるので支援内容を注視し、本町でも子どもまんなか連携調整会議の中で議論を進めていく。

子ども食堂に対する支援について



投票率の向上に向けた取り組みを尋ねる



若年層へ、投票への不安や疑問を解消するプロモーションを行った



なか ま やす ひろ
仲 摩 靖 浩



投票率の向上に向けた取り組みを

投票率向上への取り組みについて

議員 令和5年度の、町議会議員選挙の投票率向上に向けた、本町の取り組みを尋ねる。

総務課長 本町では従来からの取り組みに加え「広報おんが」への特集記事の掲載や、ホームページのトップに選挙のバナー設置など、若年層への新たな取り組みを行っている。

若年層への投票立会人の公募や、投票を呼び掛ける動画の作成。また、「広報おんが」の特集への出演を通じた選挙への身近な疑問を投げ掛けてもらうなど、投票への不安や疑問を解消するプロモーションを行った。

選挙公報を全戸配布できないか

議員 岡垣町や芦屋町は選挙公報を全戸配布している。全候補の政策が掲

載され、選挙公報は面識がない町民に候補を知ってもらう、全世帯に向けた投票率向上の手段だ。

本町も選挙公報の作成と全戸配布について、検討する考えはないか。

総務課長 町議会議員選挙の選挙期間が短く、候補者が確定してから印刷し、全戸配布するまで時間がないこと。国や県の選挙公報配布の委託先から配布の負担が大きいとの声が上がっていること。県

議会議員選挙と日程が近いことなどを考慮し、作成を見合わせていた。

しかし、選挙公報は候補者の政策や信条などを有権者に届けることができ、有権者にとって投票の判断材料となるので、今後は作成や配布への課題を整理し、作成への検討を行っていく。

投票所の適正配置について

議員 投票所までの道程

で、2km以上ある地区が数箇所存在する。投票所の適正配置を再検討する考えはないか。

総務課長 各投票所までの道程で2kmを超える部分もあるが、解消する適切な投票所の設置場所がない中で、現状の配置は適切であると考ええる。

議員 鞍手町は直線距離で1.5km以上の地域に無料のマイクロバスを運行している。

投票所の増設が難しいければ、本町もマイクロバスの運行を検討できないか。

総務課長 本町は、期日前投票所向けにはコミュニティバスの無料乗車券を配布している。

マイクロバスの運行については、町の現状や問題点を踏まえた上で、予算を伴うので、まずは現状を把握していきたい。

(注) 選挙管理委員会は独立した委員会であるため、選挙管理委員会の書記長である総務課長が答弁しています。



のぐち くみこ
野口 久美子



町内学校の屋外トイレの改修はどうなっているか



建て替えや改修の計画はないが、
修繕で施設維持を図っていく



約45年前のままのトイレ

学校の屋外トイレの修繕計画は

議員 令和2年から各学校の屋外トイレがどのくらい故障しているのか把握しているか。

学校教育課長 各学校の屋外トイレは各学校で月に1回点検しているのですが、故障等があれば、その都度対応している。

議員 広渡小学校の屋外トイレ男子トイレ1基女子トイレ2基が、私が一般質問の通告を出す5月24日の時点で3基使用禁止の張り紙をしていたが承知していたのか。

教育長 その後学校にすぐに現地調査に行き、3基とも全てトイレが使用できず状況だ。

議員 私が学校に行った際、スポーツ少年団の子どもたちがおぼちゃん、トイレがきれいになっていると知らせてくれた。もう5年以上前から使用禁止の張り紙が貼られた

ままだった。5年以上もかけてトイレの修繕ができなかったことが、3日ぐらいで全部修理ができているというのも、とても不思議な気がしたが、子どもたちにとっては修理したことは大変ありがたい。掲示の仕方などは工夫してほしいと思うがいかがか。

教育長 今、指摘がありましたように、どのくらい前から使用禁止になっているのか、今新しい校長も存じあげなかったもので月に1回点検があるので校外トイレも点検して、改めて清掃も含めて指導したところだ。

1基でも洋式トイレに改修すべき

議員 屋外トイレは男子トイレ2基女子トイレ6基とも和式トイレだ。低学年の子どもは和式トイレでトイレができず下半身全部脱いでトイレに行き、終わると土間に脱ぎ

捨てた下着を着ている。家では洋式トイレを使用している子どもがほとんどだが、和式トイレを1基でも洋式トイレに改修してはいかがか。

教育長 広渡小学校の児童は校舎内、体育館内のトイレを使用しているためほとんど屋外トイレを使用していない状況だ。その為、和式トイレを洋式トイレに替える工事等は考えていない。

議員 スポーツ少年団のソフトボールは火・水・金・土・日で練習し他校との交流試合も行っている。また地域の高齢者も健康づくりのためにグラウンドゴルフも使用しているが。

教育長 体育館の鍵をそれぞれの団体にお渡しする。管理を各団体しつかり行って体育館のトイレを使用していたらいい。

※この他にも「新型コロナウイルス感染症が生活に与えた影響」について質問しました。



駅を中心としたにぎわいの創出を図る施策は



地域との連携イベントなど、4つの事業を指定し、事業を展開する



はぎ お 萩尾 修身
おさ み



駅を中心としたにぎわいの拠点となるみらいテラス

みらいテラスの活用について

議員 町は、運営を通じて町内外から人々が集まって交流し、駅を中心としたにぎわいの創出を図るとあるが、どのような施策を持って人を集めようとしているのか。

町長 おんがみらいテラスは、民間のノウハウを活用して住民サービスの向上を図る指定管理施設であり、町から指定管理者に対し、毎年、開設記念イベント、地域との連携イベント、自衛隊と子どもの交流イベント、自衛隊フェアの4つの事業を指定し、事業を展開することとしている。

議員 みらいテラスに関する利用計画の中に、町内の農工商さまざま分野と連携、買って食べて体験して地域を活性化とあるが、この事業に関して農工商業者とどのような話を行ったかを尋ねる。

駅南地区の商業地について

町長 第2次産業振興計画を検討する段階で、町内の若手農業者、遠賀川駅前商店街の若手経営者、商工会職員との意見交換会をし、みらいテラスのコンセプトや機能を説明し、今後の協力や連携とにぎわいの創出について協議を行っている。

議員 人のにぎわいを創出するには、商業街区が重要な役割を占めると考える。松の本商店街は、ゆめタウンやグッデイが中心となつて、にぎわいを醸し出している。駅南地区はどのような業者を核にして商業街区を描いているのかを尋ねる。

町長 事業申請に先立ち、土地区画整理組合の方々と、協議や調整を重ねながら用途地域変更を行ってきた。町が関与できるのはここまでで、後は民間企業の方々が当該地区

総合型地域スポーツクラブについて

をリサーチし、マーケティングを行い、本町にふさわしい街並みが形成されていくものと思われる。

議員 本町の総合型地域スポーツクラブについて現在の取り組みに関してどのように考えているか。

教育長 小学生から高齢者まで幅広い年齢層が参加できる各教室などを開催され、コロナ禍でも工夫をしながら活動を継続されるなど、本町において地域のスポーツ振興だけでなく、住民の皆さんの健康づくりや体力増進、豊かなコミュニケーションづくりに寄与していると考えている。

※この他にも「若者に対する投票の啓発」について質問しました。



たしろ じゅんじ
田代 順二



自衛官募集のための名簿提供はどうしているか



自衛官募集事務の一部は市町村法定受託事務に当たり協力している



航空自衛隊芦屋基地

自衛官募集のための名簿の提供は

議員 防衛省によると2021年度、住民基本台帳記載の18歳と22歳男女の住所、氏名、生年月日、性別の情報を電子・紙媒体で提供した自治体は96.2自治体55%、住民基本台帳閲覧での提供は65.9自治体38%だ。本町はどうしているのか。

必要な報告または資料の提供を求めることができると規定されていること、また、令和3年に発出された防衛省及び総務省の通知において、「募集に必要資料として、住民基本台帳の一部の写しを用いることについて、住民基本台帳上、特段の問題を生ずるものではない」とされていることから行っている。

小中学校体育館の空調設備について

議員 国は断熱性を確保して、体育館の空調設備を設置する場合、補助率を引き上げた。これを機会に、小中学校体育館の空調設備の設置を改めて検討する考えはないか。

空調設備を設置する場合、断熱性を高める工事が必要となる。そのため、補助金を活用しても町が負担する費用はかなり高額になると予想される。また、ランニングコストも課題の一つとなる。

補助メニューが示された時点で検討しているが、優先順位は現時点では下位にあると判断している。体育館を避難所として利用する場合、ビッグファンを小中学校の体育館に4台ずつ配備し、必要に応じて活用するようにしている。

また、避難所生活が長期化する場合、空調設備が設置されている校舎を利用するなど、避難者の健康を第一に考え、臨機応変に対応していきたい。

政令で定めるところにより、自衛官及び自衛官候補生の募集に関する事務の一部を行う」と規定されており、さらに自衛隊法施行令において、「防衛大臣は、自衛官または自衛官候補生の募集に關し必要があると認めるときは、市町村長に対し、

1から2分の1に引き上げられたことは承知している。ただし、補助要件として、建物に断熱性があることが条件となり、本町の小中学校体育館に

※この他にも「地域公共交通計画、インボイス制度、自転車乗車時のヘルメット着用努力義務化」について質問しました。

6月議会、傍聴者からの声

(70代男性)

今回初めて、町の行政をつかさどる町議会を生成で傍聴していろいろ勉強になりました。用意された質問に対してただ読み上げるだけのやり取りに聞こえました。一つでも二つでも解決しようとする姿勢がほしいです。



西川 アサエさん

高齢者の閉じこもりについて、各公民館を利用した高齢者のレクリエーションなどを考えてほしいです。介護保険制度、介護保険の今後がどうなるのか興味深いです。

(70代女性)

遠賀町に25年住んでいて、遠賀町のことを知らなかったと思いました。「学校の屋外トイレを



中島 節子さん

和式から洋式への改修は考えていない。鍵を渡すので体育館の洋式トイレを使ってほしい」との回答にはがっかりしました。コロナウイルスが生活に与えた影響についてたくさんの質問をしていたとき、住みよい町になってほしいと思いました。

(80代男性)

議員本人のミスもあるが、質問通告から離れるのは良くないと思います。議員を注意する時に悪意がある印象を持ちました。相手を尊重した言い方をすべきだと思います。

(60代女性)

給食費無償化の質問に期待していましたが。町は財政がないから無理なのは分かりますが、国に要望するだけでなく、町として実施するための提案はしてほしいです。

初めての傍聴とても勉強になりました。町を良くするためにこれから多くの人に傍聴の声をかけていきたいと思います。

(80代男性)

給食費無償化や子ども食堂の質問は良かったが、声が聞き取りにくかったので配慮してほしいです。40年も前の和式トイレを洋式トイレに変えてほしいという声に対して「体育館のトイレを使用してほしい」、体育館は遠いからすぐそばのトイレを使いたいというスポーツ少年団の子どもたちの声に対して「早めにトイレに行くように」と答えられました。間に合わないとも限りません。学校教育だけが教育ではなく、スポーツは青少年育成です。国の宝である子どもたちをもっと大切に

質問が何度も中断され、傍聴者がヤジを飛ばした時、注意がなかったことに驚きました。議会運営が円滑にいくような対応が必要だと思います。


(80代男性)

期待していたが全体として失望しました。選挙前に「こういうことをしました」というビラが入

つていたので関心があり初めて傍聴に行きました。議員は、自分の足で現場を見に行っているのでしょうか。町職員と張り合うくらい言うかと思いました。9月も傍聴に行こうと思います。

今回の定例会は **9月**です

詳しい日程は、8月下旬にホームページでお知らせします。



(<https://www.town.onga.lg.jp>)

遠賀議会だより

発行責任者

議長 織田 隆徳

議会広報常任委員会

委員長 松尾 啓太

副委員長 立石 紘一郎

委員 野口 久美子

田代 順二

松本 登

萩尾 修身



令和5年5月8日、日本では新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「2類」から「5類」に移行しました。「5類」となってもマスクを着用している人が多数派ですが、全国各地では休日に観光地がにぎわうニュースも多く伝えられ、「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換しつつあると言えます。「アフターコロナ」に移行していく中で、本町民が豊かな生活を送るために、議員として何ができるか、考えるべき重要課題であると言えます。

少子高齢化など本町には多くの課題が山積しますが、全てをすぐに解決することはできません。一つ一つの課題に真摯に目を向け、町民の皆さんの笑顔が一つでも増えるよう、議員活動に尽力します。 立石 紘一郎